殺虫殺菌剤

稲名人®箱粒剤

オキサゾスルフィル……2.0%
イソチアニル……2.0%

種類名／オキサゾスルフィル・イソチアニル粒剤
農林水産省登録／第24516号
毒性／普通物*
有効年限／5年
包装／1kg×12、10kg×1、
40kg（受注生産の担い手直送規格）

特　長

- 新規成分オキサゾスルフィルが既存の殺虫剤抵抗性を持つ害虫にも高い効果を示します。
- 1つの殺虫成分で幅広い害虫に優れた効果を示します。
- 抵抗性誘導剤のイソチアニルがいもち病にも高い効果を示します。
- 2成分で主要害虫といもち病・細菌性病害の防除が可能です。
- は種前（床土混和・覆土混和）から移植当日まで使用可能です。

適用病害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	1kg/10a	移植時	本剤　1回 オキサゾスルフィル剤　1回 イソチアニル剤　3回 ［直播での使用は種時又は移植時までの処理は1回、本田では2回］	側条施用
稲 （箱育苗）	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ （ごま葉枯病菌） 内穎褐変病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ イネツトムシ コブノメイガ イナゴ類 イネヒメハモグリバエ	育苗箱 ［30×60×3cm、使用土壌約5ℓ］ 1箱当り50g	は種前	本剤　1回 オキサゾスルフィル剤　1回 イソチアニル剤　3回 ［移植時までの処理は1回、本田では2回］	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する
		高密度には種する場合は1kg/10a ［育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当り50～100g］			
		育苗箱 ［30×60×3cm、使用土壌約5ℓ］ 1箱当り50g	は種時（覆土前）～移植当日		育苗箱の上から均一に散布する
		高密度には種する場合は1kg/10a ［育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当り50～100g］			

（つづく）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱 [30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ] 1箱当り50g	は種前	本剤　1回 オキサゾスルフィル剤　1回 イソチアニル剤　3回 [移植時までの処理は1回、 本田では2回]	育苗箱の床土 又は覆土に均一 に混和する
		高密度に は種する場合は 1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50～100g			
		育苗箱 [30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ] 1箱当り50g	は種時 (覆土前)		育苗箱の上から 均一に散布する
		高密度に は種する場合は 1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50～100g			
	カメムシ類 イネカラバエ	育苗箱 [30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ] 1箱当り50g	移植当日		
		高密度に は種する場合は 1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50～100g			

使用者への被害防止方法（調製・散布）
稲：不浸透性手袋

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤を床土または覆土に均一に混和する場合、処理後速やかに使用してください。また、本剤を処理した床土または覆土を放置しないでください。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当りに乾籾として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬　害

●軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
●本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
●いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないでください。
●きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。

■生活環境動植物への注意

●水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

■安全使用上の注意

●吸入すると有害です。
●アレルギー性反応を起こすおそれがあります。
●粉じんの吸入をさけてください。
●屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
●吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。気分が悪い時は医師の手当てを受けてください。

■貯蔵上の注意

●密封し、直射日光をさけ、食品と区別してなるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2026年9月9日現在の登録内容に基づいています。